

福島民友新聞[2014年4月15日]

福島民報新聞[2014年4月15日]

3

総合

ア版

(第三種郵便物認可)

NPOが管理・運営

■ いわき・山田町
いわき市の発電事業会社



わき（高萩洋子代表）が管理・運営する大規模太陽光発電所（メガソーラー）が

完成を祝う式典には関係者や地元住民が出席。後藤社長があいさつ、清水敏男市長らが祝辞を述べた。

設備の概要について理解を深める参加者。いわき市山田町
ソーラーエナジー・いわき（後藤正社長）が設置し、同市のNPO法人エシカルエナジープロジェクト・い

完成し14日、同市山田町で式典が行われた。
約1万5千平方メートルの敷地内に4056枚のパネルを設置し、発電能力は約1メガワット、年間約120万キロワットの発電を想定。全量を東北電力に売電する。ふくしま産業復興投資促進特区の指定を受けた。

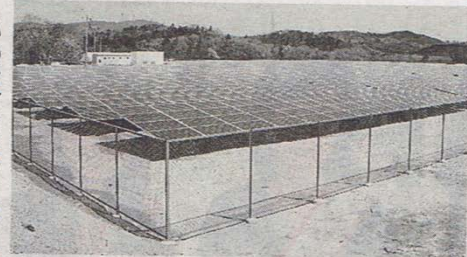
メガソーラーが完成

経済

太陽光発電が竣工

ソーラーエナジーいわき

ソーラーエナジーいわき（後藤正社長）が、いわき市山田町に設置した太陽光発電施設の竣工（しゅんこう）式は十四日、現地で行われた。
一万五千平方メートルの敷地に太陽光パネル四千五十六枚を設置した。想定年間発電量は、一般家庭約二百二十五世帯の電力使用量に相当する。



いわき市山田町に完成した太陽光発電施設

竣工式では後藤社長があいさつし、清水敏男いわき市長らが祝辞を述べた。

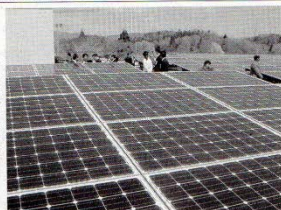
ソーラーエナジーいわきは東日本大震災と東京電力福島第一原発事故の被災者支援のため、事業収益の一部で音楽会や交流会を開く。
太陽光発電施設はNPO法人エシカルエナジープロジェクトいわき（高萩洋子代表）が管理、運営する。

(第3種郵便物認可)

2014年(平成26年)4月19日(土曜日)

此

五



NPOが太陽光発電

いわき市民ら 事業会社と

いわき市に整備された太陽光発電所

いわき市山田町で、事業会社が設置するNPO法人「太陽光発電ができないか」を考えた市民らが2012年に設立した「エンカールエナジープロジェクト。いわき（高萩洋子代表）。また、日光発電施設の候補地を探している事業会社「ソーラエナジー・いわき」と連携し、施設の管理・運営を行うことになった。

約1万5000平方メートルの地に4056枚の太陽光パネルが敷設され、出力は約014キロワット。発電した電気はすべて東北電力に売却している。年間発電量は約1000キロワット時。排出ガスは一般家庭と同等分にはない。二酸化炭素の排出量を約589トン抑制できるといっている。故障時の対応は、黒横などの立ち会っほか、収益の一部を使って原発事故避難者向けイベントの企画などを行う。

会津若松市では、同市の

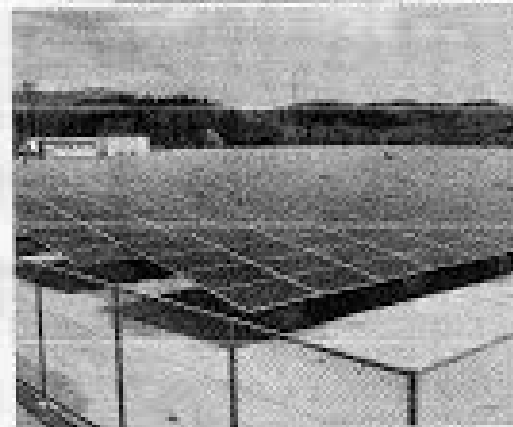
舗装工事会社「三立道路」が同社所有地に太陽光発電所を建設した。敷地7300平方メートルにパネル2115枚を設置し、最大出力は514・9kw・h。同社によると、会津地方では最大規模という。電気は東北電力に売電する。

会津地方は降雪が多いたため、雪が滑り落ちるようにパネルの傾斜を通常より角度のある30度にしたほか、地面に積もった雪に埋もれないよう高さ約1・8メートル設置したという。

年間1200^{メガワット}の発電を

山田町に「太陽光発電所」

関係者約60人出席し竣工式

[illegible]

國文藝に於ける大膽な
「一」といふは、國本市
民の在る國語精神を述べた
点と、世に聞かぬわが情
形を諷刺筆致で表現した
面を取り、全國で獨り生
れた。